

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	「新撰」について
Author(s)	曾田, 文雄
Citation	ニダバ , 15 : 63 - 63
Issue Date	1986-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00047178
Right	
Relation	



「新撰」について

曾田文雄

平安時代の諸作品について、その書名に注目してみるなら、「新」乃至は「新撰」というように、「新」の字を冠するものが幾つか存するけれども、前期に著されたものと後期に成立したものとでは、その「新」なる意味に相違がみられる。

例えば、勅撰集の一つに「新古今和歌集」というのがある。この場合の「新」とは、いうまでもないこと、「古今和歌集」を意識してのものであるから、その「新」の用法は、いわば「旧」に対するそれということになる。同様な例に「新撰朗詠集」が挙げられるが、これらは等しく、平安時代も後期に属する作品ばかりである。

それに反して、平安時代の初期あるいはそれに近い中期頃の作品にあっては、必ずしも「旧」を意識しているとは限らぬ使い方が見出される。

「新撰字鏡」など、その一つであって、これ以前に対応するような「字書」の類は、わが国に存しない。

左様に、同じく平安時代とはいいながら、ひとまとめにはいかない面があるわけである。ことばの意味の上で、同じ平安時代にあって、新しい用法が生じている例などのことについてならば、従来から報告されてきているところであったが、それが書名についても当嵌まる現象、というわけである。